

利用者のために

- 1 指標は、11分野100項目の構成とし、付録として県内市町村に関する指標24項目を掲載しています。
- 2 基礎となる統計は、令和6年5月末日時点の収集可能な最新のものを使用していますが、一部6月以降の最新のものを使用している場合があります。また、順位は原則として、下記のとおり整理しています。
 - ・数値の大きい順
 - ・表記数値以下の単位も考慮し順位付け（同数値でも順位が異なる場合がある）
 - ・資料の都合上、同順位となっている場合もある
- 3 資料中「〇〇年」とあるのは暦年（1～12月）、「〇〇年度」とあるのは会計年度（4月～翌年3月）を表示しています。
- 4 算出方法について、増加率や構成比など『 $\times 100$ 』が自明とみられるものについては、これを省略しています。

表によっては、単位以下を切り捨て又は四捨五入をしていること、不詳が含まれていることがあるため、合計の数値が内訳の計と一致しない場合があります。
- 5 「人口〇〇人当たり」という場合の人口は、原則としてその年（年度）のものをを用いています。なお、国勢調査人口は令和2年調査時の確報値を用いています。
 - ・国勢調査人口又は推計人口は10月1日現在
 - ・住民基本台帳は1月1日現在
- 6 表中の符号の用法は、次のとおりです。
 - 0 : 数値は単位未満のもの。
 - － : 該当する数値がないもの。
 - △ : 負数
 - ・・・ : 該当する数値が不詳のもの。
 - x : 秘密保護のため数値を秘匿したもの。ただし、総計には含まれる。
 - * : 値の計算式
 - メモ : 補足説明
- 7 本冊子の内容は、「沖縄県統計資料WEBサイト」でもご覧いただけます。

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/toukeika/index.html>

スマートフォン等はここから



8 令和6年3月版からの主な変更箇所。

(1) 【第1章 指標Ⅱ人口】

(変更前) 「6人口動態②人口自然増減率」 (厚生労働省「人口動態統計(確定数)の概況」)

(変更後) 「6人口動態②自然増減率」 (総務省統計局「人口推計」)

(2) 【第1章 指標Ⅱ人口】

(変更前) 「6人口動態③転入超過率」 (総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」)

(変更後) 「6人口動態③社会増減率」 (総務省統計局「人口推計」)

(3) 【第1章 指標Ⅳ労働】

(変更前) 「27就業構造①就業率」 (総務省統計局「国勢調査」)

(変更後) 「27就業構造①有業率」 (総務省統計局「就業構造基本調査」)

(4) 【第1章 指標Ⅸ 教育・文化】

(変更前) 「75余暇時間」 メモ：15歳以上

(変更後) 「75余暇時間」 メモ：10歳以上

(5) 【第1章 指標Ⅺ 関心領域】

(変更前) 「89高齢就業者割合」 (総務省統計局「国勢調査」)

(変更後) 「89高齢者有業率」 (総務省統計局「就業構造基本調査」)

(6) 【第1章 付録. 市町村】

(変更前) 「2人口総数②推計人口」 (県統計課「推計人口」)

(変更後) 「2人口総数②住民基本台帳人口」 (総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」)

(7) 【第1章 付録. 市町村】

(変更前) 「3世帯数②推計人口」 (県統計課「推計人口」)

(変更後) 「3世帯数②住民基本台帳世帯数」
(総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」)